

■クウェート：原油安による財政悪化を受け、50年ぶりの電気料金値上げへ

クウェート議会で2016年4月13日、電気料金と水道料金の引き上げについて一回目の投票が行われ、賛成多数で可決された。クウェートの電気料金は国の助成により長年極めて低い水準（一律約0.7円/kWh）を維持してきたが、原油安による国の財政悪化を受けて、電気・水道代の助成金の削減を図ることとなった。電気料金については、主に外国人が居住する共同住宅（アパート）の料金を使用量に応じて約2～5円/kWhとし、企業向けの料金を最大で約9円/kWhまで引き上げ、水道料金については現行の2倍以上まで引き上げるとしている。なお、国民向けの料金については据え置かれる予定である。これが最終投票で正式決定されれば、同国の電気料金の値上げは50年ぶりとなる。